

## <GRESB (GRESB) との連動>

**TSUNAG認定が、不動産企業等のESGへの取組度合いを企業単位で評価する国際的な基準であるGRESBの評価項目のうち、「グリーンビル認証」(GRESBが承認する環境に配慮した物件の認証)として認められ、TSUNAG認定の取得により、GRESBでの評価を高めることが可能。**

(2025年2月発行の参照ガイドに記載予定。同年4月の申請から適用)

## <TNFD (TNFD) のガイドラインへの位置付け>

**TSUNAG認定の取得を、自然関連の財務情報を評価・開示するTNFDのガイドラインに位置付けがあるものとして、企業が情報開示・広報することが可能。**

(2025年1月公表の「エンジニアリング・建設・不動産向けの追加セクターガイダンス」に記載)

## GRESB (Global Real Estate Sustainability Benchmark)

### 【GRESBとは】

**不動産企業やJ-REIT等の不動産ファンドにおける環境等のESGへの取組度合いを企業単位で評価する国際的な基準。** (GRESB財団(本部:オランダ・アムステルダム)が基幹設定)

### 【GRESBの評価手法】

「保有不動産の運用」又は「新規開発」でのESGに関わる取組を、エネルギー消費量、「グリーンビル認証」の取得状況、地域コミュニティ等への働きかけ、従業員への配慮等の項目により100点満点で評価。

※「**グリーンビル認証**」の項目は、「**保有不動産の運用**」の場合は**8.5点**、「**新規開発**」の場合は**9点**が配分。  
配分されたいずれかの点数に、**全ての建築物の床面積に占める「グリーンビル認証」を取得している建築物の床面積の割合**を掛け合わせて評価。

## TSUNAG認定との連携

TSUNAG認定を取得した計画の区域内にある建築物の床面積のうち**60% (※)**を、「**グリーンビル認証**」を取得している建築物の床面積として**加算**することが可能。

(例) GRESBに「新規開発」(グリーンビル認証: 9点配分) (\*1) で申請。  
企業がその年に新規開発した建築物の総床面積が10,000m<sup>2</sup> (\*2) であり、その内5,000m<sup>2</sup>の床面積を有する計画でTSUNAG認定を取得 (\*3) した場合。

$$9 \text{ 点} * 1 \times \frac{5,000 \text{ m}^2 * 3 \times 60\% (\text{※})}{10,000 \text{ m}^2 * 2} = 2.7 \text{ 点 の加算}$$

## TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)

### 【TNFDとは】

企業が**自然に関連する財務情報を評価・開示する枠組み**を構築するために設立された国際的な組織。(日本語名称: 自然関連財務情報開示タスクフォース)

### 【TNFDの評価・開示の枠組み】

TNFDは、**評価・開示の枠組み**として、情報開示の際の推奨項目・指標等の提言、企業活動の自然に与える影響等を評価するための手法等を内容とする**全分野向けのガイドラインを2023年9月に公表**。

**エンジニアリング・建設・不動産分野向けに自然に与える影響等を評価するための詳細な手法、追加で情報開示が推奨される項目・指標等を内容とする追加のガイドライン** (エンジニアリング・建設・不動産向けの追加セクターガイダンス) **を2025年1月に公表**。

## TSUNAG認定との連携

**エンジニアリング・建設・不動産分野向けの追加ガイドライン中、**

- ・企業活動の自然への依存度や自然に与える影響等の評価手法
- ・自然へ与える悪影響を回避するための方策
- ・追加で情報開示が推奨される項目の「緑地の創出」

に関する**評価・開示の際の出典の一つとしてTSUNAG認定を記載**している。